

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak

LICENSED PRODUCT

3/Color Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

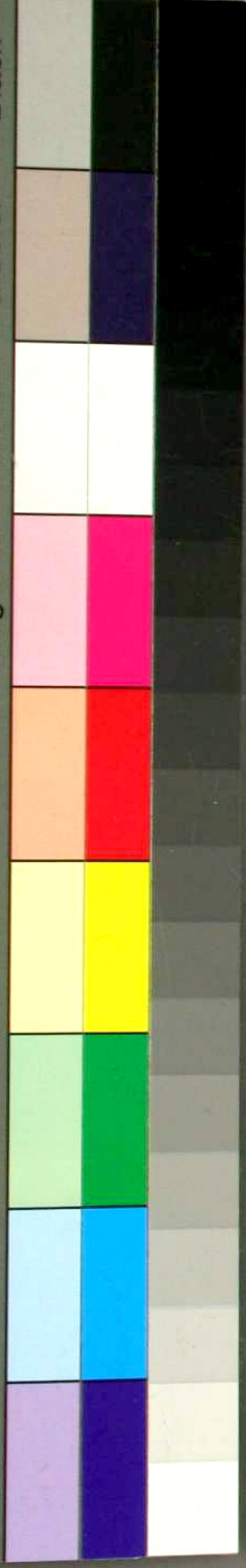
Red

Magenta

White

3/Color

Black



陰本合邦過

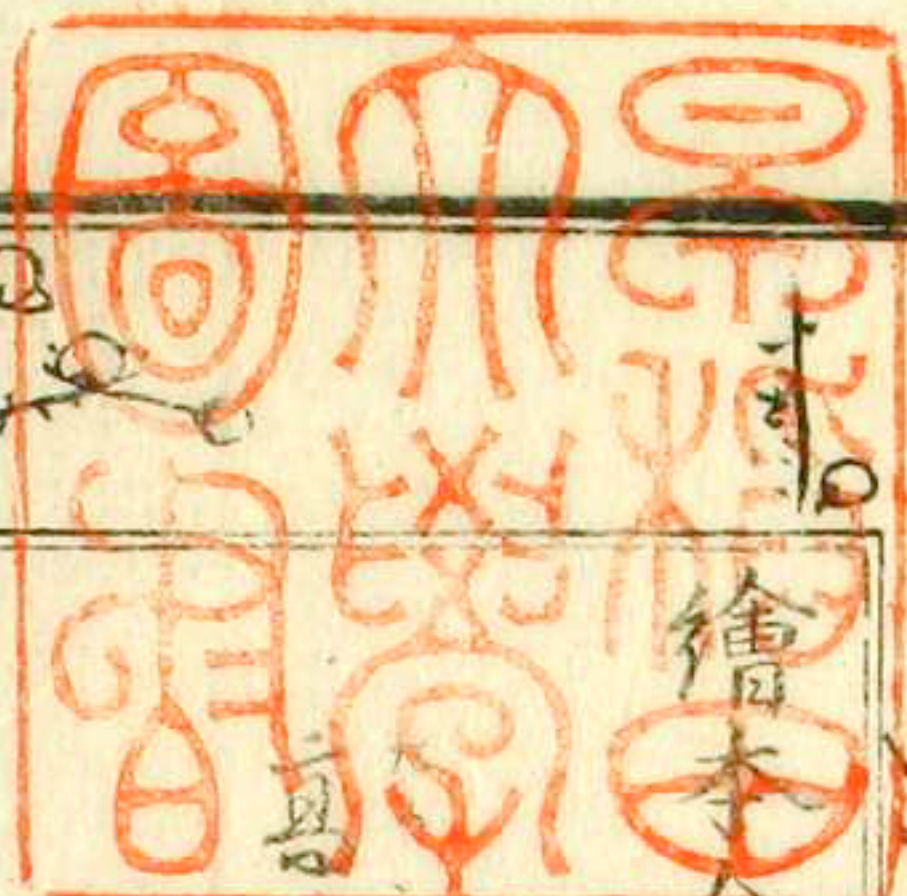
九

9  
072  
遠13  
9年





門一連  
號 872  
卷 9



繪本合邦は卷之九

目録

喜橋 簡免浪無へ赴く話

簡免川堤丹月を賞むる話

蒲生の墓より表民怪物話

簡免怪婦と捕らるる話

合邦は母てう橋田代を救ふ話

掛列合邦は母てうの巻

廻國田代盗賊の難小遇ふ話

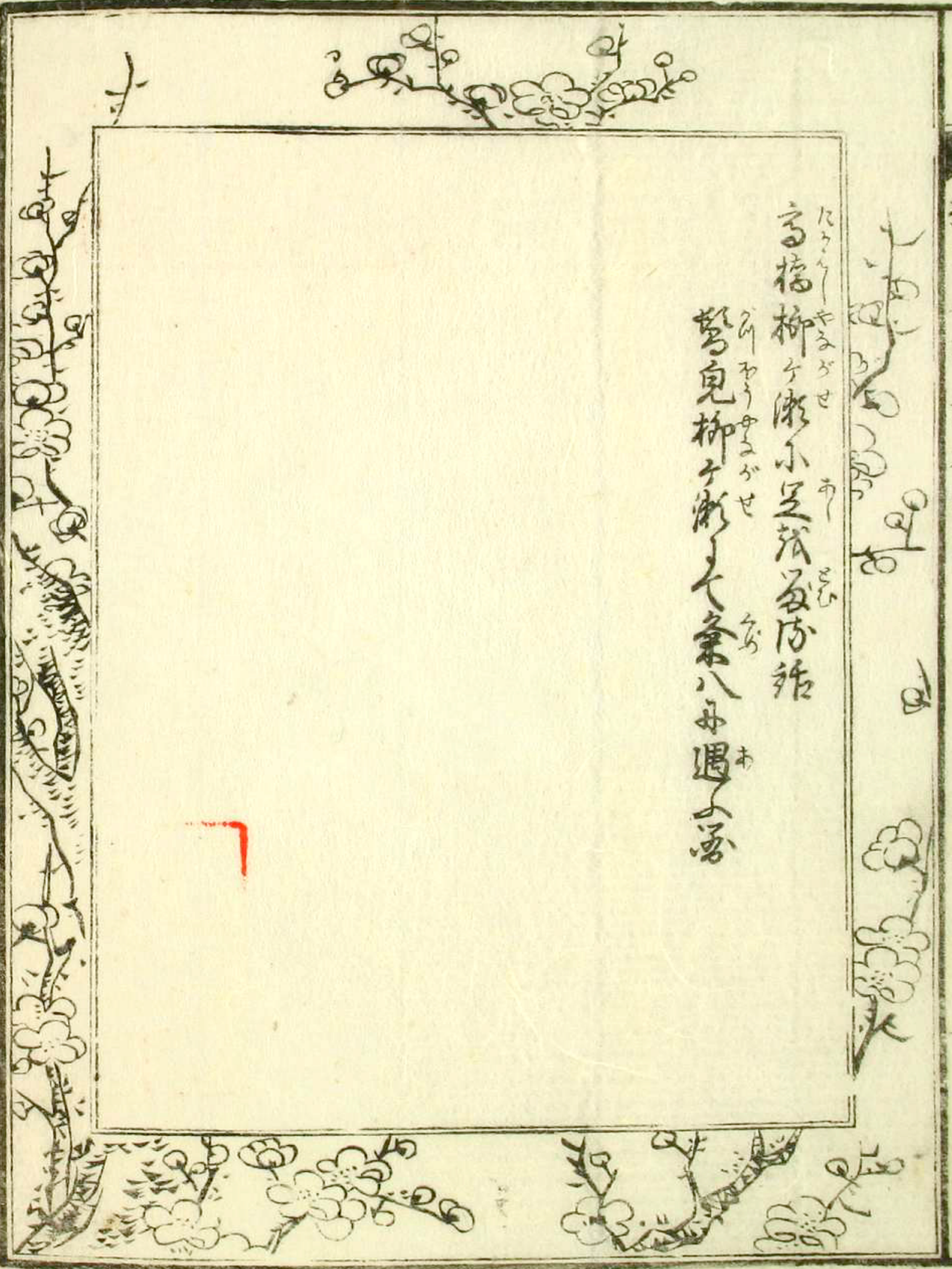
明治三十年  
十一月十日  
購

繪本合邦は母てう



言橋柳を流小足流る所始  
勢見柳を流く糸八舟遇ふ所

言橋柳を流小足流る所始  
勢見柳を流く糸八舟遇ふ所



繪本合邦辻巻之九

言橋柳を流る母へ赴く所

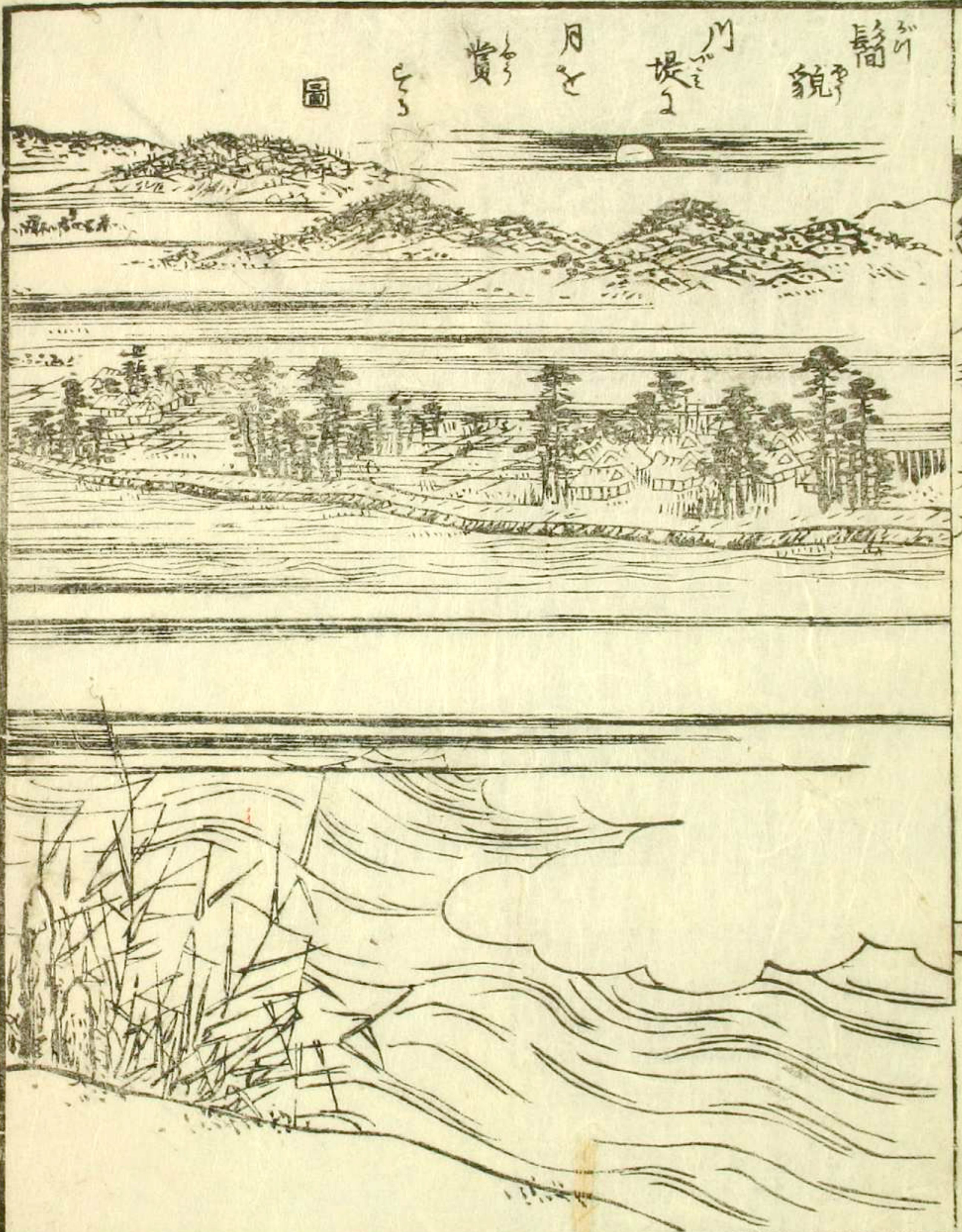
江と蘆中に匿して禁園の追捕と遊舟と取次は撒て越氏の  
船と漫む所の不祥に遭て必死の志と違ふところの執る所  
乃の難  
るる人却流も言橋柳を流るる間里へ入る匠更の船と  
も言に山林  
舟宿して金助と棲と共はしつる若狭流と遊て山陰の法園と  
遊り月  
と遊目と重く丹波無山より出る所取に言橋柳を流るる  
舟の舟と遊る  
思入柳を流るる大長きに流るる言橋柳を流るる  
に流と晴く言橋柳を流るる言橋柳を流るる  
禁園と先く言橋柳を流るる言橋柳を流るる  
双方に遠事あり大志と伸ゆる言橋柳を流るる言橋柳を流るる



會本合邦土卷九



圖 三 賞 月 堤 川 鏡 翁





とらばし是より再び本國にぬ大長との初許と伺ひ申と云と云と  
ちとと通歴の意と精とく系統とと云と云と今春の毎よりも  
そそ氣烈しく於の内と云と大言教傳く旅人の海は難し由是暫見  
再びる奥へ畿内を暖前と云と人必の劇をさまじはる方の年と云と  
言々本國懐恋じ秋山登と云と云と身より被定烈の地は秋と云と  
ともと云と内は年候のおよ身と云と云と事あは又意なきこの二より丈夫  
丈夫の死と云と事鴻毛より軽又泰山より重し先系統の月を云と  
初寒と云と延来と云と陽和の由と云と云と内國と云とに云と云とと云と云と  
神社佛閣と云と巡ねと云と休ん定考の秋と云と云と十月申の内海と  
牧方秋と云と云と日暮と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
定情と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と

河連山の氣色露として別世界に云と云と云と云と云と云と云と云と  
喉を志と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
るは秋も云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
えん人情と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
水に對しと云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
酒と飲と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
こよ波と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
虫歩に云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
天よ登りしと云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
なると云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と  
も来ぬと云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と



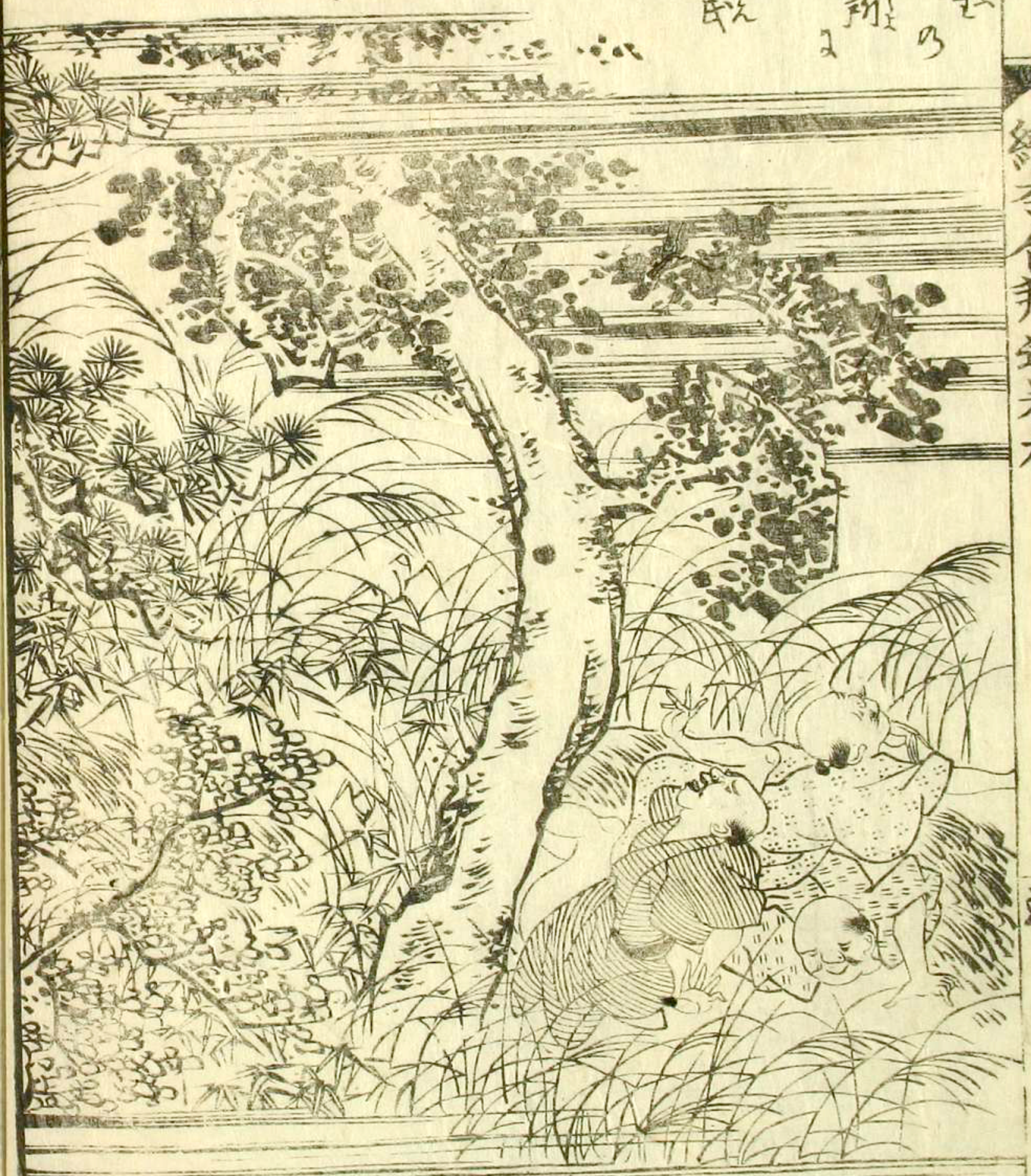
衆とのんを獨言はは泥端の本法はれ煙草と音く体息もあも  
 川面と眺をせしあは後の方より又六人のその忙を成り簡白とる  
 よりとひまに妖のあうと又法とあも偏よたとなてをり成り  
 見真なる事にもひ入るる揚ぐ我の廻國のそのと成れも偶法新よ体  
 へ得く移り事うられと殺を成りけし彼者もぬよ之ゆて皆良  
 が前にあうとくくく扱の廻國の人よねをさしけり憶物の拳初時  
 突かろん是よい子細ありえあかひ向よんや細考とらふなりとよ  
 祝儀の内不幸ありて今うは堤の彼方より痛生らふ言ふはたかく人  
 蘇り其白身と捨り人お今彼あよむりよ真形婦人のゆとよの大蘇の前  
 に来り恙とひく真骨と捨り人侍るまはふく妖物とんと宣忍しく  
 二月ももんはけあまであまうよ不圖も沙身白夜の顔よく本法に拵

かへ再び一踏成吃動のは合うると身と編めると揮く後まは橋  
 自ら言ふと幾ひま妖か人よ困く起る来也國の身まはばくは山  
 若に宿せし事もあまごといまご妖怪とるる事よし凡人思懼のふわれ  
 いは其もも同と驚うく物と冷を例あうは者不幸にをひて心氣  
 衰軟中郭外とあひせしよ中く自然に徳物の事兆真のあうり  
 有そのとるく得く妖物とりのう又の氣分の處よ系ど狐狸政とる  
 して赫せしうけ二と起る事まし下りて身を収て再び成り人り入り必  
 定怪と夫のあまじと祝せせまは皆洞と掃く足下のそのよ極の  
 理といふと驚く己よ一踏と吃て再び成り空を告とるるのよ力よし  
 足下の深山幽谷とも懼び宿るの勇あり其よはた修治のお也國あまじ  
 預くは山と共よ彼あよむり妖めく言ふとふく白身と捨り人り





國 乃 上 物 乃 怪 農 墓 滿  
民 所 出





至徳を祿に備見穉いかく安き事ありと評強人々とお連痛  
中をくぬき登りて入るに物流は遠く女のみさめ比よはれ  
大勢乃前に向ひ無と多く何中人拾ひ喰お侍り海石の管見も怪  
と多ハまして條のその天の蓋等と如早に出る人々もと管見も制  
て人々乃尋むる極なり系固ま一腰箱る人と慕せし今に終りて  
の如く形と現せし一ひりく狂程のなるべし責けよはにまきく水彼と強  
正と人々の力と付物とと度と下し金別杖と引提く路歩まて向ひ寄  
側とくろりてやいとあふけ杖まき大地まきと膝に彼あまんと叶む  
進出にまきと流地まき後より歩くと抱女あるまは衆中怪し形と  
正て人と怪しを野狐の顔るま早く中作と現せたるま余ハ空のせ  
と其向いふ彼もの勢とまきと系変して妖物よあは夜中形にあり

一にの縁放あり先りいとほ倦るまきふりく人まき抱しと守り  
えと掴む面作と熟視まき幸以二十七八の女まき口のまきりま  
てんゆきと体まき夫だき方まき管見も不き痛ねの連調まき  
いあろ内彼物の只後流儀まきをねるま人とを付しまきと由し今  
深文人絶し墓下女の身まきまきあはは大勢のまきく何中人物を獲喰  
侍人妖怪と人まき得るとまきたまき流去まきまきまき人形神まき人  
事まき又形まきまき細ありまきまき板板にまきとまきと早く子細とま  
町定まきまきまき地まきまきと温和まき同まきまき彼物まきまき  
たま顔と結ひ管見まきまきまきとけまき女の身まきまき有指まきまき  
みねの聖園のまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき  
人まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき





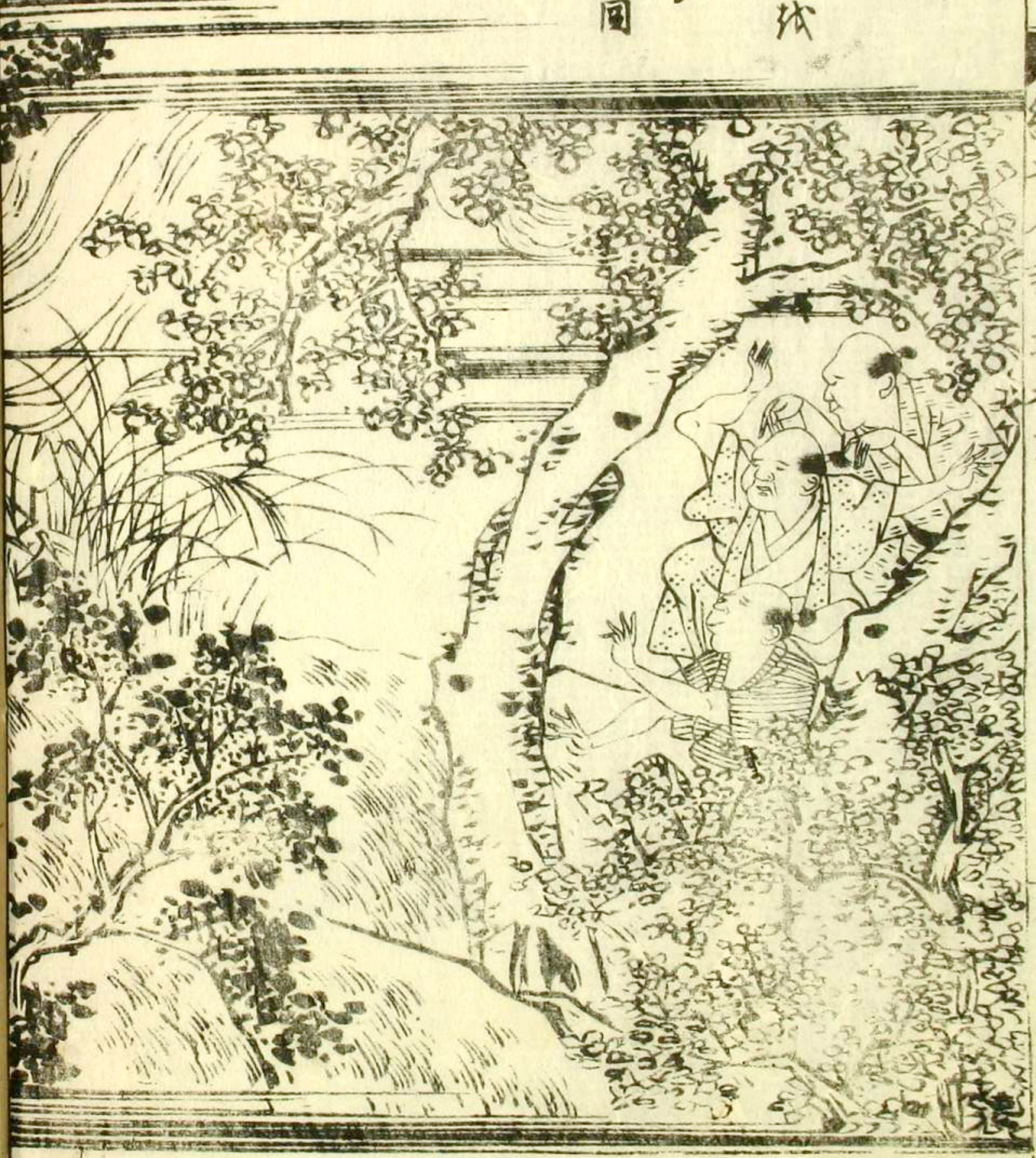


備免  
控婦  
捕子  
同

繪本合邦通卷九



繪本合邦通卷九



九





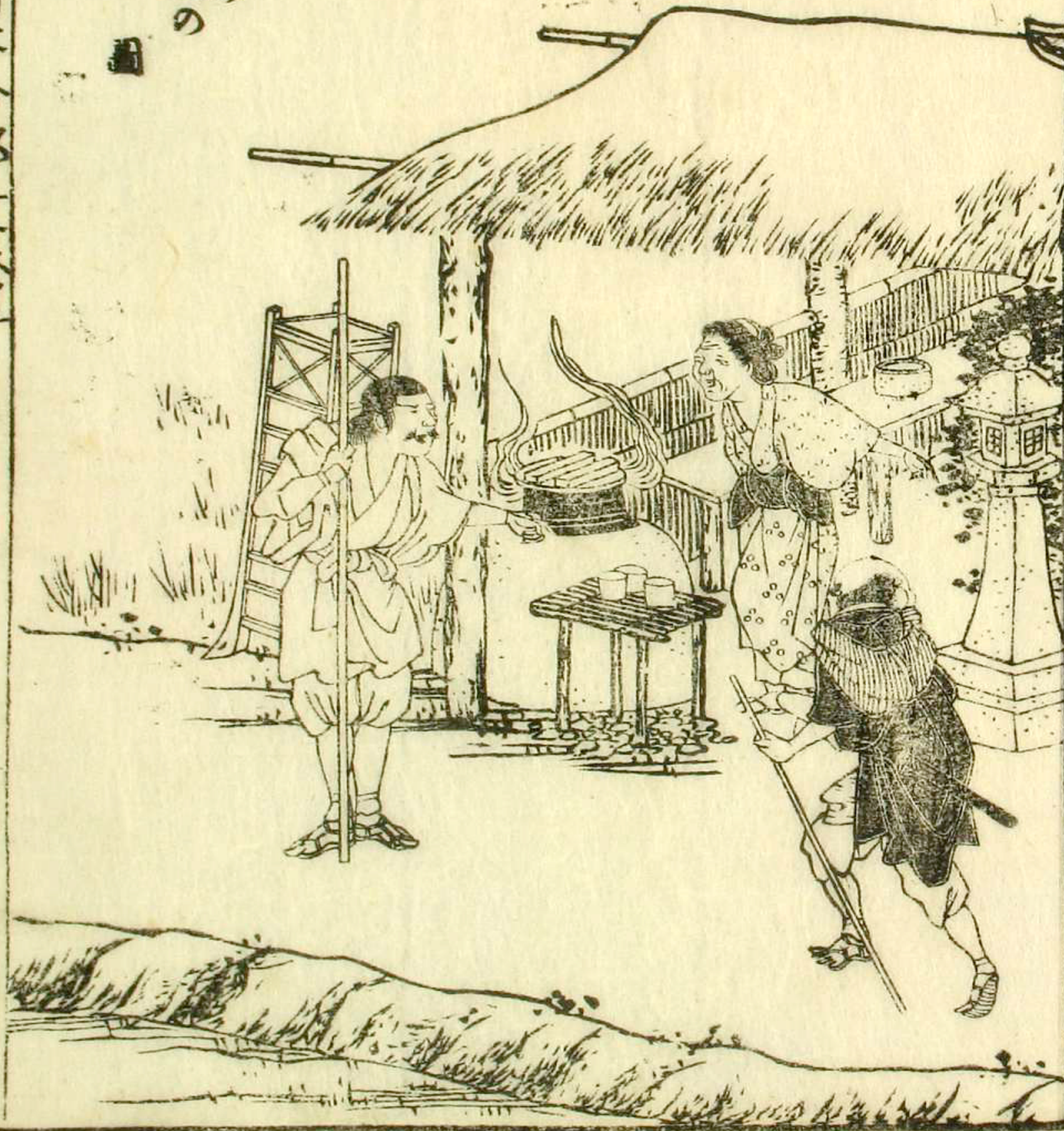


心より預くはば返屋まで巻く面影と凌幸と汗のりも莫々の共恩こと  
 清き共の婆子細く汗漬固おふの事ありて及ばぬ物一ふまの流り  
 人を為る人け方の布を其真なるふ茶もい候よまてと並だく突く体ひり  
 の物同よとんと懇に芳てぬれ替兒の意介に存情とまてふ衣ひも鞋と  
 解て糸札より及の内より紙帳蒲團と取出し温み席と設けけ厨と用ひ  
 茶と香く大辨よま清く炭と吹起つて心静よ方と体ありよ初より及ぶ  
 膳に付人ともるに何やん外面の務りまは紙帳と舉て何ひつてまは流り野  
 乃よ糸と何れ流り糸とよ六人の大漢もま流り流りとまて通きよと思し  
 彼れ女も流り流りまは流り流りまは流り流りまは流り流りまは流り流り  
 理石をにた右よりまてまてまてまてまてまてまてまてまてまてまて  
 皆大よ怒り有とまてまてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

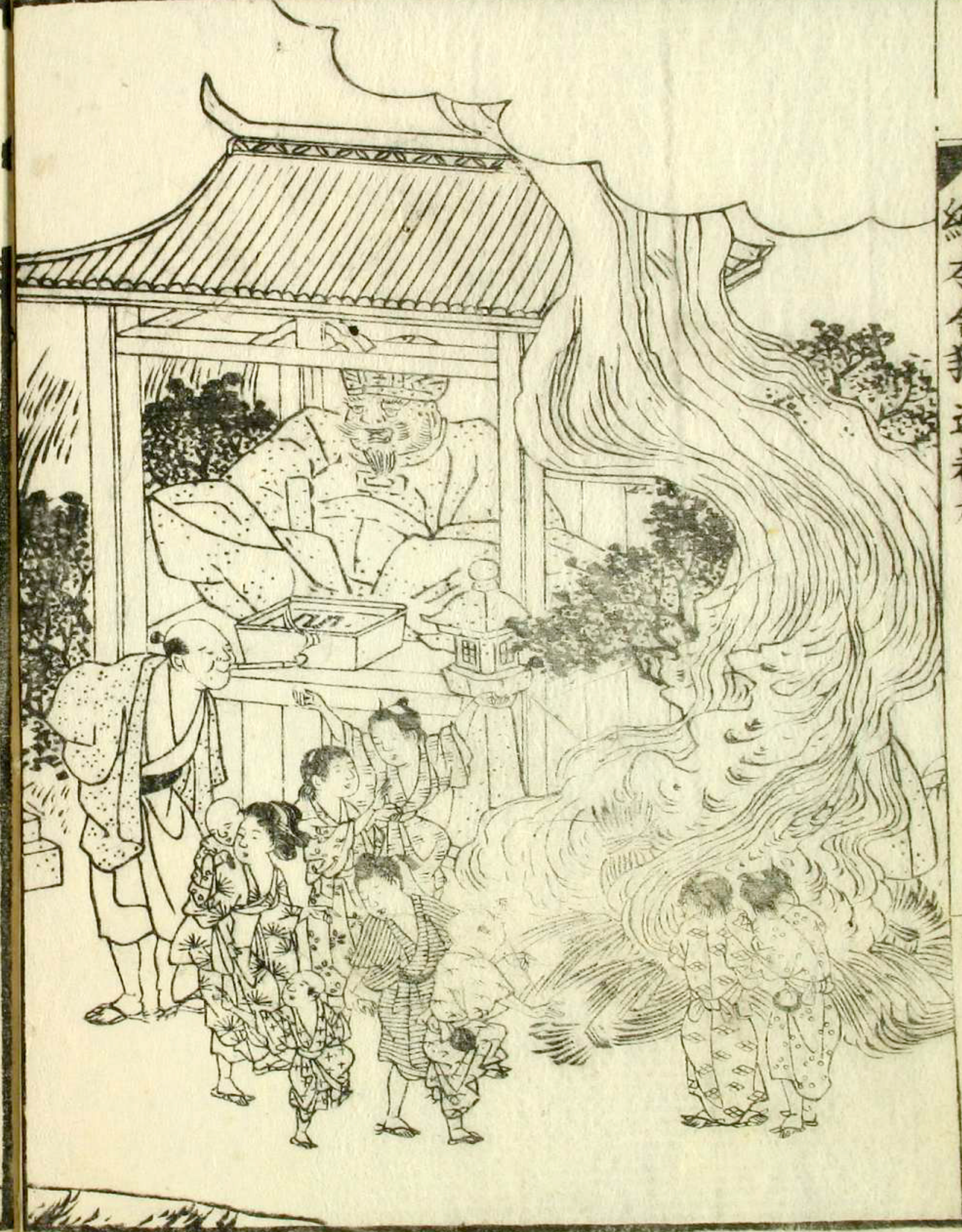
一はにちとる流り糸右の扱たよ突て働くも無者人後と扱と初  
 流り流り自由より流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 強くちよとまは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 とまて侍まは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 賊も人も是にまは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 意と討まは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 良時よと人とお例よ一人先よ流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 いたと奪く何れともまてまてまてまてまてまてまてまてまてまて  
 情弱にまは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 目下今と流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り  
 思ふとまは流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り流り



撮津  
合邦辻の



繪本合邦辻巻九

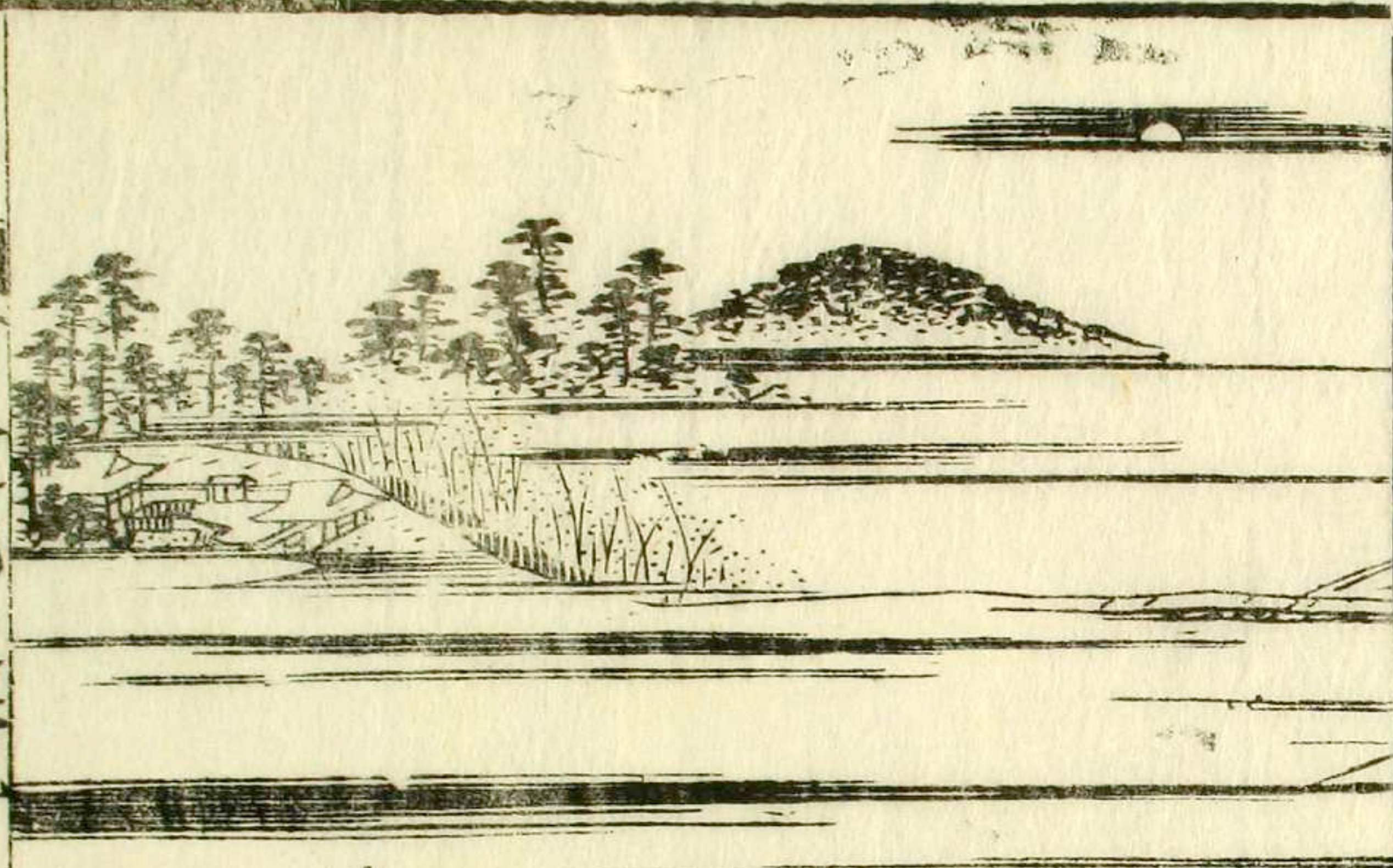


繪本合邦辻巻九

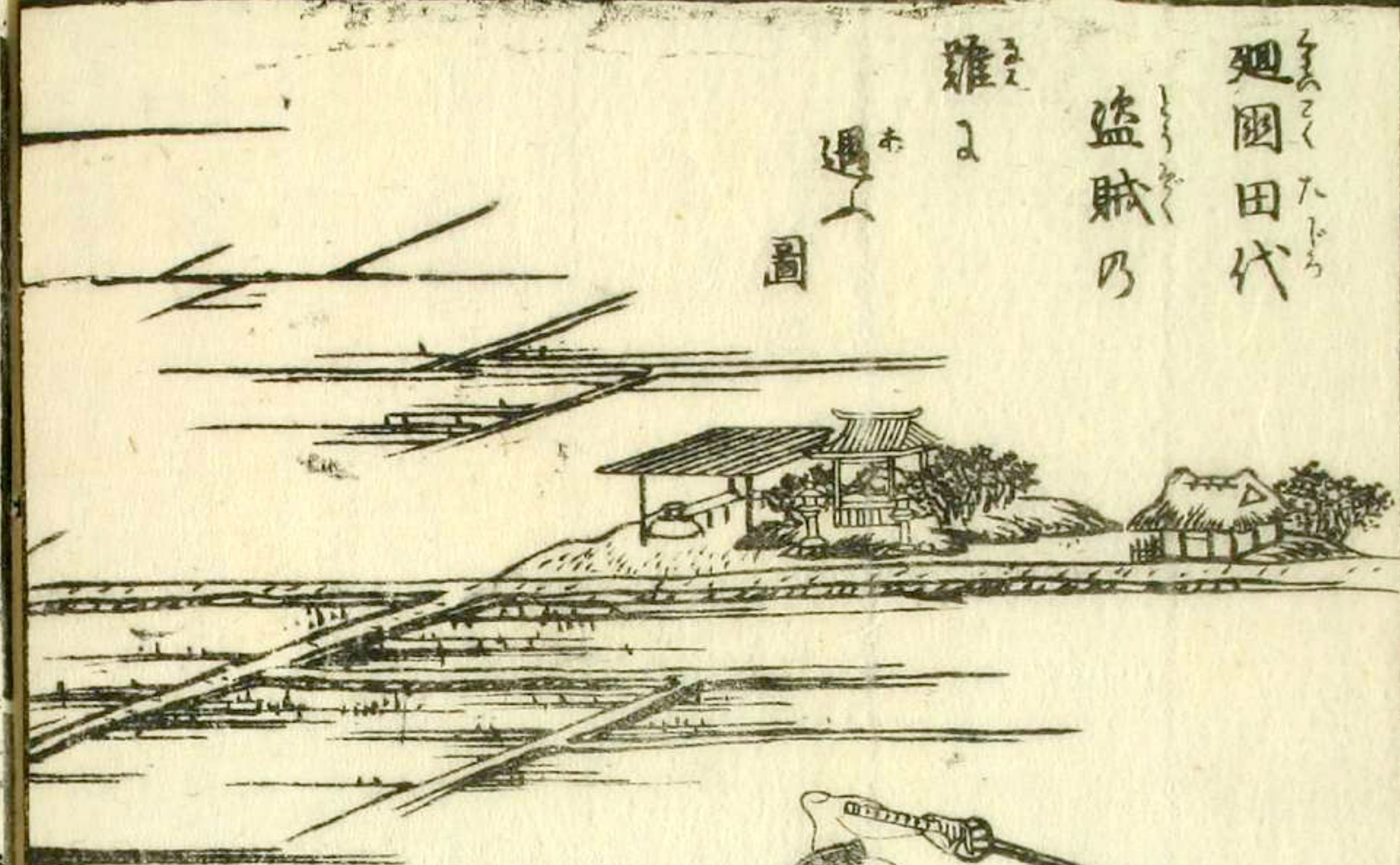








廻國田代  
盗賊乃  
難  
遇  
圖





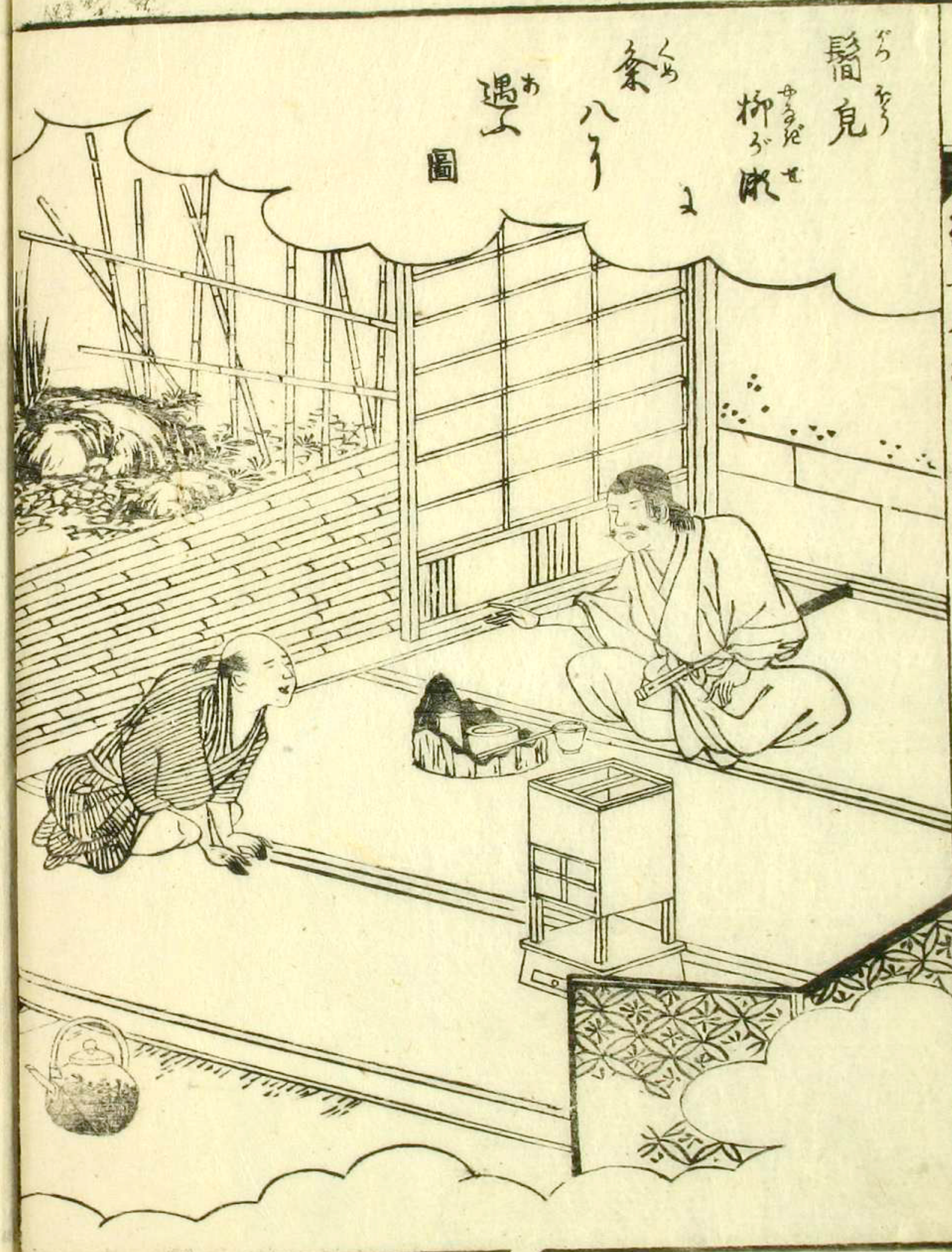




一服を公めりといはばはるごとくしてこれを人習見が田圃作りとてく関の事と  
 為同中のお解物飲り多に中にも幸がまふとてめ習見はむひ九田圃の八段と  
 旅舎とも取らばよく野宿とてとつりはすかあせりくわねははるる  
 らべは辻堂一村の圃切は段一本を漬るまで堅いもあつて野外は八段より  
 面をよく修めの内は内でもあつてまよふもあつてはるる習見園て合  
 だの事ともあつたといふと泰くはるる習見の事とてはるる圃野宿の身  
 又格の面を御細の志ありけりか若の構はしむに若きと事とてはるる圃に色  
 方いなしとてそを籠りて甲入河と指さるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 事もあつた圃の内は内とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 多はる圃習見はありて所謂別穀本圃は仁とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 だといふ圃にはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃

人習見の習見を前より平林と習見を後とせと改めんとてまの甲入河とてはるる圃  
 後修りて人習見の圃は圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 圃名も即八と改めは先刻の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 御横垣の体とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 一素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 二素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 三素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 四素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 五素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 六素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 七素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 八素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 九素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十一素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十二素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十三素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十四素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十五素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十六素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十七素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十八素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 十九素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃  
 二十素人の圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃とてはるる圃





醫見  
柳ふ  
八  
圖

繪本合辨 通卷九







